

第6期(2017年度)事業報告書

2017年5月 1日から

2018年4月30日まで

2018年6月13日

公益財団法人 小柳財団

1. 2017年度の概況

(1) 本年度で、公益目的事業の助成活動も3年目を迎え、研究助成金の募集活動もスムーズに行える様になり、2016年度の応募件数と比較すると前年比215% (38件増加)となりました。

2017年度の事業活動の収入は株式配当金が20円から30円に増加し、計画よりも13,340,000円と増加したため、交付予定件数を20件から25件へ増やし、助成金の交付を行いました。

研究助成金の公募に、想定していた件数より多くの優秀な応募案件があり、募集計画よりも多くの交付件数を選考すること決定しました。選考結果も本財団の目指す公益目的事業の内容に一致する応募案件も多く、また財政面では計画外の収入増加があったため、交付金額を増加させることについて決定し、理事会に上申しました。理事会でも財政面での計画外の収入増加があったことを踏まえて、助成件数を増加することは、公益目的事業の拡大につながるため、25件、2,500万円の交付をすることを承認することに決定しました。前年の課題としての財団の認知度の低さについては、今期の応募状況をみると改善されたと考えられます。

今後も無料のニュースリリースサイト等を活用しながら、コストのかからない方法を検討しながら財団の認知度アップの広報活動を行って行きます。

また、募集に関連する書類の課題は次年度の募集要項等に関する書類の課題、助成金交付に関する課題にも積極的に取り組み、研究者からの応募が多く集まる様に、今後も積極的に取り組んでまいります。

2. 財団の収支について

収益としては、株式配当金が40,020,000円となり、前年より13,340,000円の増加となりました。費用面では、公益事業で29,338,146円、法人会計で3,567,656円、合計32,905,802円となりました。また、公益目的事業費が前年より4,975,540円増加、法人会計が1,857,800円の増加となりました。共通事業費が前年より、881,926円増加、助成金交付額が前年より4,000,000円の増加となり、公益目的事業の経常費用の増加の原因となっています。但し、収入面では株式配当金の増加で公益目的事業の収支が黒字となり、この黒字は次年度に交付金額を増やしたり、公益目的事業の拡大化に活用します。

3. 公益目的事業について

2017年度は、生命科学に関する分野で、「人間の健康と美」を促進する研究で農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究者及び研究機関に対して、研究助成金の募集実施と助成金交付を行い、また当財団の財団活動の情報公開のため下記の事項を実施致しました。

(1) 財団活動を本財団HPで公開できるように機能の追加を行い、広く情報を公開いたしました。

公開する情報は下記の通りです。

- ①研究助成金募集活動に関するデータ・・・4種類(募集要項、第2次～第4次)
- ②事業年度別事業計画と収支予算・・・2種類
- ③決算報告(財務諸表等)・・・2種類
- ④事業報告等・・・1種類
- ⑤定款及び諸規定・・・3種類

(2) 2017年6月1日から2017年7月31日の間で、当財団HPでの公募と研究助成を支援する財団のHPに掲載しました。応募対象は国内の研究に対して公募を行い、71件の応募がありました。選考委員各個人が選考作業(応募書類の確認、採点等)を行い、その結果を選考委員会にて全員で審議・検討を行い、全件に順位付けをし、この中から上位25件に絞り込む作業を行いました。その後、交付内定先の25件について理事会に上申し、2017年9月29日開催の理事会にて承認決定となりました。

(3) 2017年10月6日より全応募者に対して、選考結果の通知(採択と不採択)を投函し、内定の25件に対しては、選考結果の通知書と第2次提出書類も一緒に発送いたしました。第2次提出書類の到着後、内定先から寄附申込書等の依頼があり、依頼都度作成し郵送にて提出を行いました。第2次提出書類は11月末日の提出になっており、この第2次提出書類をもって助成金交付先を確定しました。その後、財団の事務局と交付内定先の所属機関とやり取りをしながら進めました。研究助成金の交付は2018年2月に23件、3月に1件、4月に1件、全額を振込をし、その後第3次提出書類を送付し、助成金受領書等の受取をし、2017年度の研究助成金の交付は完了しました。交付件数25件で2,500万円の研究助成金を交付しました。助成金の交付実績は下記に記載した「2018年度研究助成金交付実績」のとおりです。

平成28年度研究助成金交付実績

五十音順・敬称略

研究者氏名	所属機関名	研究テーマ	助成額(千円)
1 いかり あきら 五十里 彰	岐阜薬科大学 生命薬学大講座生化学研究室	健康と美を目指したリン酸化制御に基づく皮膚タイトジャンクションバリアの保護化合物の探索	1,000
2 おおいし ひさし 大石 久史	名古屋市立大学大学院 医学研究科 病態モデル医学分野	転移RNAのメチル基修飾が乳ガンに与える役割	1,000
3 おおしま たかゆき 大島 隆幸	徳島文理大学 香川薬学部薬学科	痩せの大食いマウスに着目したPPAR-gamma2の生体機能の解析	1,000
4 おおば まこと 大庭 誠	長崎大学 生命医科学域(薬学系)	高効率かつ持続性の高いオルガネラの生細胞イメージング	1,000
5 おがさわら さとし 小笠原 諭	千葉大学 大学院理学研究院 生体構造化学研究室	不活性型アデニン受容体の特異的に認識する機能性モノクローナル抗体の開発	1,000
6 おぐら しゅんいちろう 小倉 俊一郎	東京工業大学 生命理工学院	低分子化合物併用による新規ミトコンドリア機能向上法の開発	1,000
7 おさみね けんじ 長船 健二	京都大学 IPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門	腎臓の老化防止に基づく慢性腎臓病に対する再生医療の開発	1,000
8 かたおか こうすけ 片岡 浩介	横浜国立大学 生命医科学研究科 生体機能医科学研究室	ビタミンDの副甲状腺での分子作用機序	1,000
9 かまち としあき 蒲池 利章	東京工業大学 生命理工学院	細胞内酸素濃度イメージングによる脂肪燃焼評価系の構築と新規機能性物質の探索	1,000
10 かどうかずあき 工藤 一秋	東京大学 生産技術研究所 物質・環境系部門	基質特異性を示すペプチド触媒の開発	1,000
11 くいわ たかし 黒岩 崇	東京都市大学 工学部エネルギー化学科	キトサン-脂肪酸ホリオンコンプレックス微粒子への抗酸化成分の担持と安定化	1,000
12 こばやし たくや 小林 拓也	京都大学大学院医学研究科	理論的予測法の汎用性を実証するためのGPCRのX線結晶構造解析	1,000
13 さくらい かつやす 櫻井 勝康	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	睡眠不足が心と肌に及ぼす影響の神経回路レベルでの理解	1,000
14 SHARIF Jafar	国立研究開発法人理化学研究所	環境要因と遺伝的要因の同時関与によるアトピー性皮膚炎病態発症の分子基盤解析及び健康と美への影響の評価	1,000
15 たがた けんすけ 高田 健介	北海道大学 大学院獣医学研究院	核内受容体を介した免疫記憶機構に基づく免疫力強化戦略と癌免疫療法への応用	1,000
16 つつみひろし 堤 浩	東京工業大学 生命理工学院	骨芽細胞の効率的培養のための高機能性ペプチド材料の創製	1,000
17 つねだ さとし 常田 聡	早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科	茶系飲料摂取による腸内細菌改善および肥満抑制効果の分子メカニズム解明	1,000

18	とみた こういち 富田 江一	徳島大学 大学院医歯薬学研究部医 科学部門 生理系機能解剖学分野	高齢者の健康な生活を妨げる大脳皮質性視力低下からの回復 方法を探る研究	1,000
19	ながた もりお 永田 衛男	東京理科大学 工学部工業化学科	植物をモデルにした活性酸素種抑制色素を用いた日焼け止め 材料の開発	1,000
20	はまだ ひさ 濱田 博喜	学校法人 加計学園 岡山理科大学	未利用資源のピオオーネ廃棄物を利用した機能性食品・機能性 化粧品の開発	1,000
21	ひらおか わかこ 平岡 和佳子	明治大学 理工学部物理学科	皮膚生理恒常性の強化に向けた超音波効果の解明	1,000
22	ひろはら しほ 廣原 志保	宇部工業高等専門学校 物質工学科	がん診断とがん治療のデュアル機能を有するポルフィリンの創成	1,000
23	もりもと けいこ 森本 恵子	奈良女子大学 研究院 生活環境科 学系 生活健康学領域	女性の美と健康のための脂肪嗜好性の調節における女性ホルモ ンの作用	1,000
24	やじま ともこ 矢島 知子	お茶の水女子大学 基幹研究院 自 然科学系	プロテインエンジニアリングを指向した含フッ素アミノ酸の合成に関する 研究	1,000
25	よねざわ のりゆき 米澤 宜行	東京農工大学 大学院工学研究院応 用化学部門	分子内の隣接カルボニル基の還元一酸化反応を利用する再活 性一再使用可能な有機還元剤分子の開発	1,000

(4) 2017年度(平成28年)より、年次報告書(第4次提出書類)に研究業績集の作成の承諾書を一緒に送付し、本財団が印刷をする予定の研究業績集について承諾の可否の意思表示をして戴き、書面を送付することにしました。承諾をして戴いた研究者の研究テーマや成果を本財団の研究助成業績集として印刷を行う準備を進めました。印刷の時期は2019年3月までには行う予定です。

(5) 2015年度(平成27年)の助成金交付先に対して、研究内容、成果等を本財団の研究業績集の作成についての承諾書を提出して戴くための書類を送付しました。この件で、申請をした所属機関から異動した場合の承諾書は、今の所属機関でいいのか、以前の所属機関でいいのか等の問合せが数件ありました。承諾書に記載する際の注意事項として、承諾書のお願いの書面と説明書に所属機関、捺印をどの機関で記載すべきかの注意事項を明記します。

4. 評議員会・理事会・選考委員会の状況

①評議員会

開催日	会議のテーマ(決議事項、報告事項)	定員	出席	結果
2017年7月6日	(決議事項) 1. 第5期決算書類の承認	3名	3名	承認
	(報告事項) 1. 2017年度事業計画と収支予算の報告 2. 2019年度研究助成金募集の報告 3. 第2期(2017年4月～2019年3月)の選考委員の選任の報告 4. 助成金交付に関する規程の見直しの報告			

②理事会

開催日	会議のテーマ(決議事項、報告事項)	定員	出席	結果
2017年6月21日	(決議事項) 1. 第5期決算書類(案)の承認 2. 第5期定時評議員会の議案と日程の承認	3名	3名	承認
	(報告事項) 1. 理事長の職務執行の報告(2017年3月～5月) 2. 2017年度(平成29年)情報公開の報告 3. 2018年度研究助成金の募集実施の報告			
2017年9月29日	(決議事項) 1. 2018年度研究助成金交付先25件の承認	3名	3名	承認
	(報告事項) 1. 理事長職務執行報告(2017年6月～8月) 2. 第5期決算公告の実施報告 3. 内閣府提出書類(第5期事業報告書)の提出完了の報告 4. 内閣府の立入検査の実施の報告			
2017年12月6日	(決議事項) 1. 謝金規程の新設の承認の件	3名	3名	承認
	(報告事項) 1. 理事長職務執行報告(2017年9月～11月) 2. 2018年度研究助成金の交付先内定の状況報告 3. 内閣府立入検査の結果報告 4. 財団法人用会計ソフトの導入の報告			
2018年3月14日	(決議事項) 1. 2018年度事業計画の承認 2. 2018年度収支予算の承認 3. 2019年度研究助成金募集要項等の書類 4. 2018年度決算スケジュールの承認 5. 選考委員会規程変更の承認 6. 研究助成金規程変更の承認 7. 研究業績集印刷の承認	3名	3名	承認
	(報告事項) 1. 理事長職務執行報告(2017年12月～2018年2月) 2. 2018年度研究助成金の交付報告 3. 2018年公開予定情報の報告(公開日2018年5月1日)			

(注)2017年9月29日、2018年2月9日の選考委員会に理事及び監事が出席し、選考委員会の運営状況を確認している。

③選考委員会

開催日	会議のテーマ(議案等)	定員	出席	結果
2017年9月29日	1. 2018年度研究助成金の応募案件のチェックと採点及び交付先の決定 (個々の採点をまとめ、採点順に上位25件を全員で吟味し決定) 欠席選考委員 三原選考委員 1名	6名	5名	決定
2018年2月9日	1. 2019年度研究助成金募集要項の決定 2. 2018年4月～2019年3月の選考委員会開催日程の決定	6名	6名	決定

5. 役員及び選考委員情報

役員情報		
財団役職	氏名	勤務形態
評議員	小柳 昌之	非常勤
	知野 秀雄	非常勤
	石川 和則	非常勤
代表理事	大倉 一郎	非常勤
理事	加藤 信子	非常勤
	小柳 典子	非常勤
監事	宮崎 一成	非常勤

選考委員情報		
財団役職	氏名	勤務形態
選考委員長	小澤 俊彦	非常勤
選考委員	蟻川 芳子	非常勤
	大倉 一郎	非常勤
	上村 みどり	非常勤
	畑中 研一	非常勤
	三原 久和	非常勤

以上